

## VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業出演希望調書(実演芸術)

分野, 種目(該当する種目に○を付してください。)

B区分(令和2年度採択 延長)

| 分野     | 種目                        |
|--------|---------------------------|
| 【音楽】   | 合唱, オーケストラ等, 音楽劇          |
| 【演劇】   | 児童劇, 演劇, ミュージカル           |
| 【舞踊】   | バレエ, 現代舞踊                 |
| 【伝統芸能】 | 歌舞伎・能楽, 人形浄瑠璃, 邦楽, 邦舞, 演芸 |

申請する区分に, ○を付してください。

A区分のみ・A区分とB区分の両方・C区分

複数申請の有無(該当する方に○を付してください。)

あり・なし

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当する選択肢のいずれかに○を付してください。)

- (1) 公演の実施時期が重複しても, 複数の企画を実施可能  
 (2) 公演の実施時期が重複しなければ, 複数の企画を実施可能  
 (3) 提案したいずれか1企画のみ実施可能  
 (4) その他( )

## 芸術文化団体の概要

|                       |  |   |                    |
|-----------------------|--|---|--------------------|
| ふりがな                  | こうえきざいだんほうじん かながわふいるはもにーかんげんがくだん   |   |                    |
| 制作団体名                 | 公益財団法人 神奈川県フィルハーモニー管弦楽団  |   |                    |
| 代表者職・氏名               | 理事長 上野 孝   |   |                    |
| 制作団体所在地<br>(最寄り駅・バス停) | 〒231-0004 神奈川県横浜市中区元浜町2丁目13番地<br>みなとみらい線「馬車道駅」下車 徒歩4分  |   |                    |
| 電話番号                  | 045-226-5045   | FAX番号   | 045-663-9338       |
| ふりがな                  | かながわふいるはもにーかんげんがくだん  |   |                    |
| 公演団体名                 | 神奈川県フィルハーモニー管弦楽団   |   |                    |
| 代表者職・氏名               | 理事長 上野 孝   |   |                    |
| 公演団体所在地<br>(最寄り駅・バス停) | 〒231-0004 神奈川県横浜市中区元浜町2丁目13番地<br>みなとみらい線「馬車道駅」下車 徒歩4分  |   |                    |
| 制作団体<br>設立年月          | 1970年 3月   |   |                    |
| 制作団体<br>組織            | 役員   | 団体構成員及び加入条件等  |                    |
|                       | [理事長] 上野孝<br>[副理事長] 上野健彦<br>[専務理事] 櫻井龍一、他11名、<br>[評議員]13名、[幹事]2名<br>[名誉顧問] 平野裕、<br>[顧問] 黒岩祐治ほか4名 | [常任指揮者] 川瀬賢太郎<br>[特別客演指揮者] 小泉和裕<br>[役員]35名、[楽団員]78名、[事務局員]24名<br>構成員合計139名<br>■加入条件等:規約に定める |                    |
| 事務体制の担当               | 専任・他の業務と兼任   | 本事業担当者名   | 澤木泰成、林大介、<br>梅咲安紗子 |

|                    |   |  |  |      |
|--------------------|---|--|--|------|
| 経理処理等の<br>監査担当の有無  | 有 ・ 無   |  | 経理責任者名   | 金井義則 |
| 制作団体沿革             | 1970年(S.45年)3月<br>78年(53年)7月<br>87年(62年)2月<br>～<br>2000年(H.12年)9月<br>2013年(25年)4月<br>2014年(26年)4月 | 自主運営団体「ロリエ管弦楽団」として発足。<br>財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団に組織改編<br>地方交響楽連盟(現日本オーケストラ連盟)に加盟<br>歴代音楽監督・指揮者に、山田一雄、團伊玖磨、外山雄三、<br>黒岩英臣、手塚幸紀、佐藤功太郎、ハンス＝マルティン・シュナイ<br>ト、金聖響が就任<br>常任指揮者に現田茂夫が就任(2009年3月まで、同4月より<br>名誉指揮者)<br>首席客演指揮者にサッシャ・ゲッツェルが就任<br>公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団へ移行<br>常任指揮者に川瀬賢太郎、特別客演指揮者に小泉和裕が<br>就任 |  |      |
| 学校等における<br>公演実績    | 2017年度<br>2018年度<br>2019年度  | 文化庁巡回公演事業において、16公演を実施<br>神奈川県内・東京都・近隣県にて 45公演を実施<br>文化庁巡回公演事業において、17公演を実施<br>神奈川県内・東京都・近隣県にて 45公演を実施<br>文化庁巡回公演事業において、9公演を実施予定<br>神奈川県内・東京都・近隣県にて 42公演を実施予定  |  |      |
| 特別支援学校に<br>おける公演実績 | 2017年度<br>2018年度<br>2019年度  | 特別支援学校、特別支援学級の児童生徒のみを対象にした公演を2回実施<br>神奈川県内の特別支援学校を訪問 16公演を実施(小編成)<br>特別支援学校、特別支援学級の児童生徒のみを対象にした公演を2回実施<br>神奈川県内の特別支援学校を訪問 16公演を実施(小編成)<br>特別支援学校、特別支援学級の児童生徒のみを対象にした公演を2回実施<br>神奈川県内の特別支援学校を訪問 20公演を実施予定(小編成)  |  |      |
| 参考資料の<br>有無        | A   | 申請する演目のチラシパンフレット等  | 有 ・ 無  |      |
|                    |   | 申請する演目のDVDまたはWEB公開資料   | 有 ・ 無  |      |
|                    |   | ※公開資料有の場合 URL  | <a href="https://www.youtube.com/watch?v=0ncJqSUnpUE">https://www.youtube.com/watch?v=0ncJqSUnpUE</a><br><a href="https://www.youtube.com/watch?v=7Bx7jCCj41U">https://www.youtube.com/watch?v=7Bx7jCCj41U</a> |      |
|                    |   | ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード  | ID: 必要なし<br>PW: 必要なし   |      |
|                    | Aの<br>提出が<br>困難な<br>場合  | 今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料  | 有 ・ 無  |      |
|                    |   | ※公開資料有の場合 URL  |  |      |
|                    | ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード   | ID:<br>PW:   |  |      |

## 公演・ワークショップの内容

## 【 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 】

|                                |   |  |  |
|--------------------------------|---|--|--|
| 対 象                            | 小学生(低学年・中学年・高学年) ・ 中学生  |  |  |
| 企画名                            | 神奈川フィル「ゆめコンサート」 オーケストラと共演！  |  |  |
| 本公演演目<br>原作／作曲<br>脚 本<br>演出／振付 | 1. ビゼー作曲:歌劇「カルメン」より前奏曲 < 3><br>2. ビゼー作曲:歌劇「カルメン」より“ジプシーの踊り” < 3><br>3. オーケストラの楽器の紹介(1種類ごと) <20><br>4. <u>一緒に演奏しよう！(共演)</u><br>①L.モーツァルト作曲:おもちゃの交響曲から第2楽章 [小学校低学年] < 2><br>② A)エルガー作曲:行進曲“威風堂々”第一番 [小学校高学年] < 7><br>B)杉本竜一作曲:ピリープ [小学校高学年] < 5><br>※ A)またはB)のどちらかを選択<br>③ロジャース作曲:サウンド・オブ・ミュージック [中学校吹奏楽] <10><br>5. 児童生徒作詞作曲:私たちだけの合唱曲 [全学校共通] < 5><br>6. A)ヴェルディ作曲 :オペラ「アイダ」より“凱進行進曲” < 7><br>B)チャイコフスキー作曲:バレエ「くるみ割り人形」より「花のワルツ」 < 8><br>※ A)またはB)のどちらかを選択<br>7. (アンコール)校歌(オーケストラによる特別編曲の演奏と斉唱) < 3><br><p style="text-align: right;">公演時間 &lt;70分&gt;</p>  |  |  |
| 著作権                            | 制作団体が<br>所有   | <input type="radio"/> 制作団体以外が所有する<br>事項が含まれる | 有<br>(制作団体以外が所有する<br>事項が含まれる場合)<br>許諾の有無 |
| 演 目 概 要                        | <p><b>1. 歌劇「カルメン」より前奏曲</b> ビゼーが作曲したオペラを代表する前奏曲の1つです。誰もが耳にした事のある名曲をオープニングに演奏し、子ども達の興味をステージへ引きつけます。</p> <p><b>2. 歌劇「カルメン」より“ジプシーの踊り”</b> 1曲目と同じオペラの劇中で、フルートとハーブの伴奏で始まる異国情緒豊かな踊りの音楽です。曲の最後ではテンポがだんだんと速くなり、迫力満点のクライマックスを迎えます。</p> <p><b>3. 「楽器の紹介」</b> オーケストラで使用される全ての楽器を個別に、実演しながら紹介します。2020年度よりハーブを加えます。</p> <p><b>4. 「一緒に演奏しよう」</b> 児童生徒との共演を目的とした、楽器を使用した合同演奏です。<br/> ①小学校低学年向け <b>「おもちゃの交響曲」</b>(学校で普段使用している楽器、カスタネット、ピアノ、その他楽器になり得るものは全て可能)で共演いたします。<br/> ②小学校高学年向け <b>A) 行進曲「威風堂々」第一番</b> と <b>B) 「ピリープ」</b>を用意(リューター、ピアノ等のメロディ楽器)で共演。 A)またはB)のどちらかを選択して頂きます。<br/> ③中学校向け 中学校の吹奏楽部とオーケストラの合同演奏です。ミュージカルの代表作(神奈川フィル・オリジナル編曲)「<b>サウンド・オブ・ミュージック</b>」を用意しました。</p> <p><b>5. 「私たちだけの合唱曲」</b> 本公演の一番のクライマックスとなるこの曲は、児童生徒が主役です。子どもたちが作詞・作曲した作品をプロの作曲家がオーケストラ伴奏つきの合唱曲に編曲します。世界に一つしかない自分たちだけのオリジナル作品をオーケストラと共演いたします。</p> <p><b>6. A) 「オペラ」 アイダより“凱進行進曲”</b> イタリアの作曲家/ヴェルディが書き残した、歌劇「アイダ」の劇中で演奏される人気の高い作品の一つです。<br/> <b>B) バレエ「くるみ割り人形」より「花のワルツ」</b> チャイコフスキーの三大バレエの一つから、クラシック音楽の中で最もポピュラーな曲です。冒頭では美しいハーブの音色も楽しむことができます。AまたはBのどちらかを選択していただけます。</p> <p><b>7. (アンコール)校歌</b>(特別に編曲したオーケストラ伴奏により全員で斉唱)</p> |  |  |

## 演目選択理由

演目の選択意図は、

1. 「心を掴む」、2. 「ワクワクさせる」、3. 「楽器の種類」、4. 「参加し易さ」「協調性」、5. 「創作の喜び」、6. 「身近に感じる」、7. 「故郷」、をテーマに様々な手法を織り交ぜ企画し選曲しております。

1. 「歌劇『カルメン』より前奏曲」誰もが知っているクラシックの名曲作品を最初取り上げることで、子どもたちに**興味**を持たせます。
2. 「ジプシーの踊り」軽快なリズムの曲を取り上げることで、子供たちの音楽への**期待感**を高めます。
3. 「楽器のお話」オーケストラで使われる楽器を**一種類**ずつ紹介させていただきます。  
現場の先生方の希望として多い個別の楽器紹介を取り入れております。  
子ども達を飽きさせない工夫を、たくさん盛り込んでおります。
4. ①「おもちゃの交響曲」小学校低学年の子どもたちが**気軽に参加(共演)**できるように選曲いたしました。交互に演奏しながら一つの楽曲を演奏しますので、相手を大切にすることを養います。  
②A) イギリス市民に愛され世界中でも親しまれる「**威風堂々**」(リコーダー、ピアノ等のメロディ楽器で共演)を題材にオーケストラと一緒に演奏することで、相手を大切にすることを、協調性を養います。  
B) 学校の教科書でも紹介される「**ビリーブ**」(リコーダー、ピアノ等のメロディ楽器)で共演(一緒に行動)することで、相手に寄り添う心や、協調性を養います。  
③「サウンド・オブ・ミュージック」 同上の理由です。
5. 「**私たちだけの合唱曲**」児童・生徒が自分たちで作詞作曲をして合唱曲を作り上げる事で、創造する楽しさや、直観力、コミュニケーション能力、感受性を養います。この企画の一番の見せ場です。
6. A) 「**アイーダ**」より「**凱進行進曲**」  
B) 「**くるみ割り人形**」より「**花のワルツ**」  
サッカーの応援歌やクラシックの名曲として誰もが聞いたことがあるこの作品を取り上げることで、クラシックをより身近な文化と感じて頂くために取り上げました。
7. 「**校歌**」(特別に編曲したオーケストラ伴奏により全員で斉唱)  
子ども達全員が知っている校歌を取り上げることで、児童生徒、先生方、保護者等、世代を超えて地元を大切にする(仲間)意識を強く抱いていただきたい。  
※これから子どもたちに待ち受ける人生の様々な試練は、今回の様々な経験が必ず心の支えとなり、乗り越えられると信じています。  
(プログラムには掲載しません)

スマートフォンで読み込むことでコンサートの様子を見ることができます。



|                              |   |                     |   |
|------------------------------|---|---------------------|---|
| <p>児童・生徒の共演，参加又は体験の形態</p>    | <p>参加形態は、大きく分けて器楽・合唱の2つの方法でオーケストラと共演します。</p> <p><b>器楽</b> (4曲目)</p> <p>①「L.モーツァルト作曲 おもちゃの交響曲から第2楽章」(小学校低学年)<br/>打楽器と音程の有る楽器を中心にオーケストラの演奏に加わる形態(器楽)<br/>・打楽器は、普段学校や地元の地域活動で児童・生徒が使用している楽器を使います。<br/>(和太鼓、小太鼓、カスタネット、タンブリン、空き缶等でも可能)<br/>・音程の有る楽器は、普段学校や地元の地域活動で児童・生徒が使用している楽器を使います。(リコーダー、ピアノカ、和楽器等でも可能)</p> <p>②A)「エルガー作曲 行進曲“威風堂々”第一番」(小学校高学年)<br/>B)「杉本竜一作曲 ビリーブ」(小学校高学年)<br/>・メロディラインを演奏可能な楽器で、オーケストラと合同演奏(普段学校や地元の地域活動で児童・生徒が使用している楽器を使用)</p> <p>③「ロジャース作曲 サウンド・オブ・ミュージック」(中学校のみ)<br/>・吹奏楽の生徒との合同演奏。オーケストラと合同演奏できる譜面を用意しましたので、事前にパート譜を送付しますので練習して頂き、本番時に共演します。</p> <p><b>合唱</b> (5曲目、7曲目)</p> <p>5.「私たちだけの合唱曲」(全学校共通)<br/>事前に児童・生徒からオリジナルの歌詞・簡易なメロディを募集し、それを管弦楽伴奏の合唱曲に編曲し歌います。本番は、全校合唱とオーケストラと共演します。</p> <p>7曲目:「校歌」(アンコール)<br/>各学校の校歌もオーケストラ版に編曲し、アンコールとして参加者全員で斉唱 いたします。(プログラムには掲載しません)</p> |                     |   |
| <p>出演者</p>                   | <p>指揮・進行:堀俊輔、和田一樹、宮松重紀(候補者)<br/>管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団</p>   |                     |   |
| <p>公演出演予定者数<br/>(1公演あたり)</p> | <p>出演者: 59名<br/>スタッフ: 5名<br/>合計: 64名</p>  | <p>機材等<br/>運搬方法</p> | <p>積載量 4t車 or 2t車を2台<br/>車長 4t車 約9m<br/>2t車 約5m<br/>台数 1台 or 2台</p> |

| 公演に当たっての<br>会場条件                    | 実施条件等確認書①をご確認ください。  |                   |     |                 |       |  |    |           |     |     |    |    |     |                          |                   |     |                 |       |
|-------------------------------------|---|-------------------|-----|-----------------|-------|--|----|-----------|-----|-----|----|----|-----|--------------------------|-------------------|-----|-----------------|-------|
| 会場設営の所要<br>時間(タイムスケ<br>ジュール)の目<br>安 | 前日仕込み(有・無) 会場設営の所要時間( 1.5~2 時間程度 ) <table border="1" data-bbox="403 745 1449 864"> <thead> <tr> <th>到着</th> <th>仕込み/リハーサル</th> <th>本公演</th> <th>内休憩</th> <th>撤去</th> <th>退出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9 時</td> <td>9 時~11 時/<br/>11 時半~12 時半</td> <td>14 時~15 時 15<br/>分</td> <td>0 分</td> <td>15 時半~<br/>16 時半</td> <td>16 時半</td> </tr> </tbody> </table> ※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時 30 分からの概ね2時限分程度です。   |                   |     |                 |       |  | 到着 | 仕込み/リハーサル | 本公演 | 内休憩 | 撤去 | 退出 | 9 時 | 9 時~11 時/<br>11 時半~12 時半 | 14 時~15 時 15<br>分 | 0 分 | 15 時半~<br>16 時半 | 16 時半 |
| 到着                                  | 仕込み/リハーサル   | 本公演               | 内休憩 | 撤去              | 退出    |  |    |           |     |     |    |    |     |                          |                   |     |                 |       |
| 9 時                                 | 9 時~11 時/<br>11 時半~12 時半  | 14 時~15 時 15<br>分 | 0 分 | 15 時半~<br>16 時半 | 16 時半 |  |    |           |     |     |    |    |     |                          |                   |     |                 |       |
| 児 童 ・ 生 徒<br>の参加可能人数                | ワークショップ   | 10 名から 500 名程度    |     |                 |       |  |    |           |     |     |    |    |     |                          |                   |     |                 |       |
|                                     | 本公演   | 10 名から 500 名程度    |     |                 |       |  |    |           |     |     |    |    |     |                          |                   |     |                 |       |
| ワークショッ<br>プ 実 施 形 態<br>及 び 内 容      | <p data-bbox="403 1122 563 1149">&lt;実施内容&gt;</p> <p data-bbox="403 1160 1262 1187">①レオポルド・モーツァルト／おもちゃの交響曲から第2楽章(小学校低学年)</p> <p data-bbox="403 1198 1023 1261">「打楽器パート」と「かっこうパート」に分かれて演奏する。</p> <ul data-bbox="403 1272 1023 1417" style="list-style-type: none"> <li>・打楽器パートは曲に合わせてリズムを叩いたり、指揮者のテンポに合わせて演奏する練習をする。講師からは楽器の扱い方、より良い音の出し方、リズムに言葉を当てはめて練習するなどの指導を受ける。</li> <li>・かっこうパートは鍵盤ハーモニカやリコーダーなどを使って、かっこうの鳴き声を表す演奏をする。演奏箇所は少ないので指揮者の合図を見る練習をする。(テンポを速めたり、遅くしたり指揮者に合わせるゲームをする)。講師からはかっこうの鳴き声に近づけるための演奏方法(音は短めになど)の指導を受ける。</li> </ul> <p data-bbox="403 1653 1075 1680">②A)エルガー／行進曲“威風堂々”第一番(小学校高学年)</p> <p data-bbox="427 1691 874 1718">B)杉本竜一／ビリーブ(小学校高学年)</p> <p data-bbox="403 1729 1023 1834">4~6 年全員がリコーダーで演奏する。音楽が表わす情景のイメージを皆で共有しながら、全員が1つになれるように練習する。</p> <p data-bbox="403 1845 1015 1908">高音域の演奏方法の指導を受ける(ウラ技の指使い、息の使い方など)</p> <p data-bbox="403 1919 1015 1982">楽器の扱い方(演奏しないときは構えない、くわえない、雑に扱わないなど)の指導を受ける。</p> <div data-bbox="1046 1196 1437 1485" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1046 1733 1437 2022" data-label="Image"> </div> |                   |     |                 |       |  |    |           |     |     |    |    |     |                          |                   |     |                 |       |

|                          |   |
|--------------------------|---|
|                          | <p>③ロジャース／サウンド・オブ・ミュージック・メドレー(中学校吹奏楽部)<br/> 中学校の吹奏楽部と共演する。<br/> 木管、金管、打楽器の 3 パートに分かれて講師の指導で分奏し、その後指揮者の指導で合奏する。各分奏では奏法のほか合奏する時の注意点、オーケストラと共演する時の注意点を指導する。<br/> *吹奏楽部のない中学校はA)「行進曲“威風堂々”第一番」またはB)杉本竜一／ビリーブ をアルトリコーダーで演奏する。</p> <p>5. 私たちだけの合唱曲(全学校共通)<br/> ワークショップ前に開催校によって作詞作曲されたオリジナル合唱曲の指導を受ける。<br/> 歌い方(歌詞をはっきり歌う、声の出し方など)、オーケストラと共演する時の注意点なども指導を受ける。</p>   |
| <p>ワークショップ実施形態の意図</p>    | <p>子ども達が集中力を維持でき、かつ興味を持って参加して頂けるように、小学校の低学年向けには簡単なメロディ楽器とリズム楽器で参加して頂きます。高学年では学校で習っているリコーダー等を使用することで取り組み易くします。</p> <p>中学校では吹奏楽部とオーケストラとコラボレーションできる場面を設定しました。合唱曲では、誰もが持っている声という楽器を使用します。世界に一つしかない自分達で作詞・作曲した曲を、クラス学年に関係なく全員で作り上げる喜びを感じて頂きます。</p>  |
| <p>特別支援学校での実施における工夫点</p> | <p>事前に学校を訪問し、ご担当者と打ち合わせをさせていただきます。企画を進めさせて頂く上での留意事項や心配事を直接伺うことで、不安内容を減らし、また各学校側の事情に沿わせて頂くことで、突発的な事案も柔軟に対応させていただきます。</p>   |
| <p>実施可能時期</p>            | <p>実施可能時期スケジュール表をご確認ください。</p>   |

# 神奈川フィル「ゆめコンサート」オーケストラと共演

小学生から中学生までの児童・生徒に、本物の音楽芸術を身近に触れる機会を提供することで、芸術を愛する心を育て、豊かな情操を養う事を目的とした「文化芸術による子供の育成事業」各開催校では、楽団員による楽器・合唱のワークショップと、オーケストラによるコンサートを2日間にわたって開催いたします。

## 出演

指揮 / 堀 俊輔、和田一樹(予定)

演奏 / 神奈川フィルハーモニー管弦楽団

## プログラム

1. オープニング / ビゼー作曲: 歌劇「カルメン」前奏曲
2. 華麗なオーケストラ / ビゼー作曲: 歌劇「カルメン」より「ジプシーの踊り」
3. オーケストラの楽器たち / 楽器の紹介(各奏者によるデモンストレーション)
4. 一緒に演奏しよう / 小学校[低学年] ①L.モーツァルト作曲: おもちゃの交響曲から第2楽章  
小学校[高学年] ②エルガー作曲: 行進曲「威風堂々」 または  
②杉本竜一作曲: ビリーブ を選択  
中学校 ③「サウンド・オブ・ミュージック」を題材に吹奏楽(生徒)と共演
5. 私たちだけの合唱曲 / (世界に一つだけのオリジナルソングを自分たちで作詞・作曲をしよう!)
6. 大迫力のオーケストラ / ヴェルディ作曲: オペラ「アイダ」より「凱進行進曲」 または  
チャイコフスキー作曲: バレエ「くるみ割り人形」より「花のワルツ」 を選択

## ～ ワークショップ ～



事前に行いますワークショップでは、神奈川フィルの団員にから分かりやすい指導を受けます。

## ～ オーケストラ・コンサート ～



初めてオーケストラを体験する子ども達のために、楽器紹介では各楽器を1本ずつ紹介いたします。中央のQRコードから本公演の様子をご覧ください。子どもたちの純粋な眼差しに、演奏者も子どもたちに喜んでもらえるように毎回面白楽しく演奏します。

【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

|       |                 |    |    |    |         |                        |   |    |     |
|-------|-----------------|----|----|----|---------|------------------------|---|----|-----|
| ID    | H104            | 分野 | 音楽 | 種目 | オーケストラ等 | ブロック                   | H | 区分 | B区分 |
| 公演団体名 | 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 |    |    |    | 制作団体名   | 公益財団法人 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 |   |    |     |

① 会場条件等についての確認

| 項目                              | 必要条件等                             |                 |        |  |                        |            |    | 応相談  |   |
|---------------------------------|-----------------------------------|-----------------|--------|--|------------------------|------------|----|------|---|
| 控室について                          | 必要数 *                             | 3室              | 条件     | 着替えをしますので、カーテンや目隠しをお願いします。部屋数をご相談            |                        |            |    | 可    |   |
| 搬入について                          | 来校する車両の大きさと台数 *                   |                 |        | 4tトラック                                       | 1台 or                  | 2tトラック     | 2台 | 可    |   |
|                                 | 上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細            |                 |        | 上記以外の方法を検討いたします。                             |                        |            |    | /    |   |
|                                 | 来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ            |                 |        | 4tトラック1台または2tトラック2台                          |                        |            |    | —    |   |
|                                 | 搬入車両の横づけの要否 *                     |                 |        | 要（可能な範囲で近い場所での作業を希望）                         |                        |            |    | 可    |   |
|                                 | 横づけができない場合の搬入可能距離 *               |                 |        | 問わない   |                        |            |    | —    |   |
|                                 | 搬入経路の最低条件                         |                 |        | できるだけ舞台に近い場所からの搬入を希望                         |                        |            |    | 可    |   |
|                                 | 理由                                |                 |        | 重量のある楽器を手作業で搬出入するため                          |                        |            |    | /    |   |
|                                 | 設置階の制限 *                          |                 |        | 問わない   |                        |            |    | —    |   |
|                                 | 搬入間口について<br>単位:メートル               |                 | 幅      | 約2m  | 高さ                     | 約2m        |    | 可    |   |
| WSIについて                         | 参加可能人数                            | 1～500名程度(基本全員)  |        |  |                        |            |    | 可    |   |
|                                 | 学年の指定の有無 *                        | なし              | 指定学年 * | 低学年、高学年、全員と分けて行います。                          | 低学年、高学年、全員と分けて行います。    |            |    | 可    |   |
|                                 | 所要時間の目安<br>単位:分                   | トイレ休憩なし80分程度    |        |  |                        |            |    | 可    |   |
| 本公演について                         | 会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間            |                 |        | ※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。 |                        |            |    | /    |   |
|                                 | 鑑賞可能人数                            |                 |        | ステージとフロアを使用します。両サイドが通路として通ることができれば、制限はありません。 |                        |            |    | 可    |   |
|                                 | 舞台設置場所 *                          |                 |        | 体育館の舞台およびフロアの一部分を利用                          |                        |            |    | 可    |   |
|                                 | 舞台設置に必要な広さ<br>単位:メートル             |                 | 幅      | 18m  | 奥行                     | 8m         | 高さ | 指定なし | 可 |
|                                 | 体育館の舞台を使用する場合の条件                  | 舞台袖スペースの確保 *    |        |  | 要                      |            |    |      | 可 |
|                                 |                                   | 舞台袖スペースの条件 *    |        |  | 特になし                   |            |    |      | 可 |
|                                 |                                   | 緞帳 *            | 不要     |  | バトン *                  | 不要         |    |      | — |
|                                 | 遮光(暗幕等)の要否 *                      |                 |        | 要  | 理由                     | ある方が見やすいです |    |      | 可 |
|                                 | ピアノの調律・移動の要否<br>(調律費・移動費は経費対象外です) | 指定位置へのピアノの移動 *  |        | 不要   | ※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。 |            |    |      | 可 |
|                                 |                                   | ピアノの事前調律 *      |        | 不要   |                        |            |    | 可    |   |
|                                 | フロアを使用する場合の条件                     | バスケットゴールの設置状況 * |        | 格納した方が見やすいです                                 |                        |            |    | 可    |   |
|                                 | 公演に必要な電源容量                        |                 |        | 不要   | ※主幹電源の必要容量             |            |    |      | — |
|                                 | その他特記事項                           |                 |        |  |                        |            |    | 応相談  |   |
| 開催校のアクセス条件により、大型バス2台で伺う場合があります。 |                                   |                 |        |  |                        |            | 可  |      |   |
|                                 |                                   |                 |        |  |                        |            |    |      |   |
|                                 |                                   |                 |        |  |                        |            |    |      |   |

会場図面(表記単位:メートル)

|                   |                      |     |    |     |
|-------------------|----------------------|-----|----|-----|
| 搬入間口について          | 幅                    | 約2m | 高さ | 約2m |
| 搬入車両の横づけの可否       | 要(可能な範囲で近い場所での作業を希望) |     |    |     |
| 横づけができない場合の搬入可能距離 | 問わない                 |     |    |     |

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

